

主催：一般財団法人 共立国際交流奨学財団

共催：標津町観光協会

# 2017 年度 北海道・標津研修会

標津町の人達と北海道の文化・生活体験をしよう！

## 〔実施報告書〕



開催日：	2018年2月15日（木）～2月20日（火）
開催地：	北海道 標津町
参加者：	留学生 18 名
主催：	一般財団法人 共立国際交流奨学財団
共催：	標津町観光協会

# ◆ 日程表 ◆

月 日	時 間	日 程	食事	宿泊
2/15 (木)	10:30	羽田空港集合	昼食:×	
	12:15	羽田空港発 (ANA377)		
	13:55	中標津空港着		
	14:40	標津町表敬訪問		
	15:15	標津サーモン科学館見学		
	18:00	夕食	夕食:○	泊:旅館
2/16 (金)	09:00	郷土料理作り体験 (芋もち作り)	朝食:○	泊:旅館
	13:00	雪遊び体験 (スノーシューで雪原散策・かまくらづくり等)	昼食:○	
	18:00	夕食	夕食:○	
2/17 (土)	09:00	ゲレンデスキー体験 (標津町営金山スキー場)	朝食:○	ホーム ステイ
	14:00	ホストファミリー対面式	昼食:○	
		夕食(各家庭)	夕食:○	
2/18 (日)	終日	ホームステイ家族交流	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○	ホーム ステイ
2/19 (月)	08:30	集合(あすばる) 野付半島自然観察	朝食:○	泊:旅館
	11:30	羅臼道の駅	昼食:○	
	13:00	流氷・バードウォッチングクルーズ		
	18:00	交流会(あすばる)	夕食:○	
2/20 (火)	09:00	生キャラメル作り体験	朝食:○	
	12:30	見送り式	昼食:×	
	14:30	中標津空港発(ANA378)		
	16:25	羽田空港着 解散		



# ◆参加者◆

	氏名	フリガナ	性別	国籍	学校名
1	呂 宜雅	ロ ギガ	女	台湾	横浜市立大学
2	吳孟シェン	ウ モン シェン	女	台湾	横浜市立大学
3	HUANG CHIEN	コウ セン	女	台湾	横浜国立大学(大学院)
4	楊 鈺 慧	ヨウ ウィ ウエイ	女	台湾	新宿日本語学校
5	HU LINFENG	コ リンフウ	男	中国	新宿日本語学校
6	HUNG YUN JYUAN	ホン ユンジュエン	女	台湾	東京国際大学付属日本語学校
7	TU HSUAN JUNG	ト シエン ロン	女	台湾	東京国際大学付属日本語学校
8	MAK TIN LOK	バク テン ラク	男	中国香港	東京国際大学付属日本語学校
9	陳 詠 心	チン エイ シン	女	中国香港	東京国際大学付属日本語学校
10	張 紅玲	チョウ コウレイ	女	中国	東京国際大学付属日本語学校
11	陳 雪瑩	チン セツエイ	女	中国	東京観光専門学校
12	NGUYEN THI KIEU TRINH	グエン ティ キウ チン	女	ベトナム	共立日語学院
13	GERALDUS ARISTOPHANES	ゲラルドウス アリストファネス	男	インドネシア	共立日語学院
14	PHAN THI NGOC HIEN	ファン ティ ゴック ヒエン	女	ベトナム	共立日語学院
15	HUYNH KIEN LUAN	ヒュン キイン ルアン	男	ベトナム	共立日語学院
16	ARIFINADI PUTRAINA BIGWANTO	アリフィナディ プテライナ ビッグワント	男	インドネシア	共立日語学院
17	楊 燁	ヤン イェ	女	中国	横浜国立大学
18	馬靖龍	マジンロン	男	中国	デジタルハリウッド大学
19	TIFFANY ROSS	ティファニー ロス	女	アメリカ	共立財団スタッフ(引率者)





# ◆標津研修会では…◆

1日目 2/15(木)

10:30 集合

12:15 羽田空港発

13:55 中標津空港着

14:40 標津町表敬訪問

15:15 標津サーモン科学館見学

18:00 夕食



羽田空港に集合！



標津町商工観光課  
課長荒木さんのご挨拶



標津サーモン科学館にて  
チョウザメ指パク体験に挑戦！



2日目 2/16(金)

09:00 郷土料理作り体験  
(芋もち作り)

13:00 雪遊び体験  
(スノーシュー等)

18:00 夕食



標津産のジャガイモを使って、  
芋もちを作りました！



ポー川にて、スノーシューで雪原散策と雪合戦等を楽しめました！





### 3日目 2/17(土)

09:00 ゲレンデスキー体験  
(標津町営金山スキー場)  
14:00 ホストファミリー対面式  
夕食(各家庭)



2泊3日、お世話になります～！

ガイドさんと練習し、初心者もリフトを乗り、スキーをできました！



ホストファミリー対面式



### 4日目 2/18(日)

終日 ホームステイ家族交流

富森ホストファミリー



谷内田ホストファミリー



大桃ホストファミリー



森ホストファミリー



山田ホストファミリー



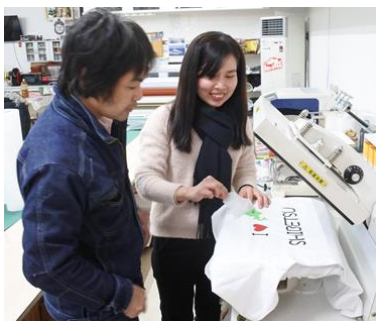
林ホストファミリー



高桑ホストファミリー



荒木ホストファミリー



高桑さんのホームステイで、朝に除雪体験をし、昼から自分のオリジナルTシャツとマグカップを作りました！



5 日目 2/19(月)

08:30 集合

野付半島自然観察

11:30 羅臼道の駅

13:00 流氷・バードウォッチングクルーズ

18:00 交流会



野付半島にてトリックアットはとても楽しかったです！



流氷とオオワシを見ることができたよ！



交流会でお世話になった方と楽しい時間を過ごしました！  
学生全員がゲームに参加し盛り上がりました！



6 日目 2/20(火)

09:00 生キャラメル作り体験

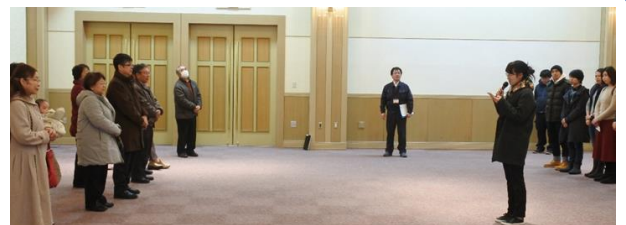
12:30 見送り式

14:30 中標津空港発

16:25 羽田空港着 解散



学生に大人気の標津牛乳を使って、生キャラメルを作りました！大変でしたが、とてもおいしく作れました！



見送り式にて  
5泊6日、お世話になりました！  
また標津町に行きます！



# ◆参加者の感想◆

標津研修会について参加者の感想を聞かせていただきました。

- ①標津町の文化・生活について、( )を知りました。
- ②友達に紹介したい「標津町のいいこと」は何ですか？
- ③ホストファミリーへのメッセージ(ステイ先:                      さんへ)

※この感想文は学生の文章をそのまま掲載しています。

## 黄 千さん(台湾)横浜国立大学大学院

①標津町の文化・生活について、大雪の中の生き方についてを知りました。始めて冬の時北海道に来ました。母国の台湾の冬と比べると25-35度ぐらいの違いがあります。そのためなかなか寒い気温には慣れませんでした。そしてホームステイの家には蓄熱器や布団の加温気があるからこそ厳寒の中でも暖く生活できることを分かりました。そして台湾では雪が降らないため吹雪の怖さも始めて知りました。最後に標津町の牛奶やチーズなど本当に本当に美味しかった。人口15,000人なのに牛は100,000匹もあって、このように乳製品の自給率高い標津町は本当に素晴らしい町だと思いました。



## 陳 雪莹(中国)東京観光専門学校

①標津町の文化・生活について、日本の北の方の生活を知りました。学校で日本の観光地をたくさん勉強したが、標津町について何もわからなくて、つまらないかなと心配した。飛行機を降りて、雪を見たら、すべての心配がなくなった。ホームステイ先で漁師の生活を体験し、みんなで料理を作って、とても楽しかった。郷土料理作り体験して、帰る時、おばあさん、おじいさんはバスの後に見えないまですっと手をふり続いていた。とても感動した。

## 馬 靖龍さん(香港)デジタルハリウッド大学

②標津町の山に良いスキー場があるから冬のスポーツが好きとか体験したいならば、ぜひ来てみてください。私なら毎回スキーしている頃落ちたけど、ワクワクしたり楽しかったと思います。そして、たくさんの水産物があるので、おみやげを買って下さい。



## HUYNH KIEN LUANさん(ベトナム)共立日本語学院

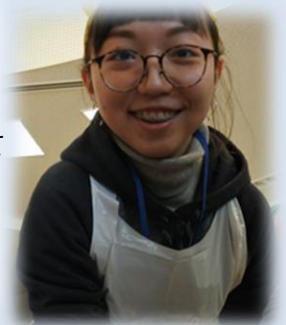
②海の上を歩ける絶景を紹介したい。海の上を歩けることは信じられませんでした。野付湾は、北海道東部の別海町にある海です。1月下旬～3月中旬の厳冬期には一面が結氷し、その上に雪が積もって一面の白い世界を作り出すのです。歩いていて、たくさんの野鳥が見られるし、テンションがとても上がりました。目も心も奪われるこの野付湾は、ぜひ一度体験してみたいです。

## 楊 鈺 慧さん(台湾)新宿日本語学校

③ホストファミリーへのメッセージ(ステイ先: 谷地田さんへ)

パパとママへ、

お世話になりました。この二日間本当にお邪魔しましたー一緒に味噌をつくて、温泉にくけて、そして料理をつくても色々生活の知識をもらっています。良い交流と思っています。研修旅行申し込みの時に、“犬が大好きで書いていました、だから、犬ビッキーちゃんに幸せな時間を送る、本当に嬉しかった。ビッキーありがとうございます！時間があれば、来年も標津であいましょうか。





## ～引率後記～

2月15日(木)～20日(火)に2017年度北海道・標津研修会を開催し、留学生18名が参加しました。18名の中、台湾国籍は6名、中国国籍は4名、香港国籍とベトナム国籍は3名ずつ、そしてインドネシア国籍の学生は2名でした。中国語をしゃべる学生は圧倒的に多く、交流できるのかと心配しましたが、学生全員は一生懸命日本語で話しましたので標津町の方と他の参加学生と交流できたようで安心しました。

1日目に羽田空港で集合し、参加学生は少し緊張していたようですが、それよりワクワクしていたようです。標津町表敬訪問で研修旅行の一番楽しみにしていることを発表してもらい、多くの学生はスキー体験とホームステイと言いました。

2日目に郷土料理作り体験と雪遊び体験(スノーシューで雪原散策)に参加しました。郷土料理で標津産のジャガイモを使って芋もちを作り、美味しく作れました。全員が作った芋もち余ってしまい、宿に持って帰りたい学生はいました。ガイドさんから芋もちのレシピを用意していただいたので、興味がある学生にまた作ってみてくださいね。スノーシュー体験ではポー川の歴史を学び、そしておもしろい発見もでき、充実な一日を過ごせました。

3～4日目は大人気なスキー体験とホームステイ体験でした。スキー体験は初めての学生はほとんど全員でしたが、ガイドさんのご指導のおかげで参加学生は滑るようになり、また多くの参加学生はリフトを乗りました。スキー体験で疲れたと思いますが、ホストファミリーの皆さんは参加学生を暖かく受け入れていただきました。ホームステイを始めた際、参加学生1名の調子は急に悪くなりましたが、薬とホストファミリーのおかげでまた元気になったようです。大変感謝しております。他のホームステイでは除雪体験やお土産の買い物しに行き、参加学生はホストファミリーと一緒に過ごした時間は大切な思い出になったと思います。

今回の研修会で標津町ならではの体験をし、標津町の方・様々な国の方と交流をでき、貴重な思い出になったと思います。標津研修会で学んだこと、作った絆を大事にすることを願います。

引率者記 ティファニー ロス





2018年2月17日(土)

# 釧路新聞

SENSHIN

根室版

2月17日土曜日

発行所 釧路新聞社

©釧路新聞社2018

根室支社/☎0153-24-2120

中標津支社/☎0153-72-2201

〒085-8650 釧路市黒金町7の3

総務部/☎0154-22-1111

編集制作部/☎0154-22-1112

広告部/☎0154-22-1113

販売部/☎0154-22-1149

ご購読お申し込み 0120-550-946

## 一面の銀世界に感動

### 標津 外国人留学生ら自然体験

首都圏で学ぶ大学生・外国人留学生を対象とした、研修旅行生が15日から標津町を訪れており、同町を中心に、道東の文化や自然を学んでいる。

留学生支援や国際交流促進に取り組む共立国際交流奨学財団(東京)の主催で、町エコ・ツーリズム交流推進協議会が中心となって受け入れを実施。今回はベトナムやインドネシア、台湾、

中国などから19人が来町した。

15日に来町した一行は、町役場で歓迎を受けた後、サーモン科学館でサケについて学習。16日には郷土料理の「芋もち」作りにチャレンジしたほか、雪に覆われたボー川史跡自然公園をスノーシューで散策した。標津市立大の大学院で国際マネジメントについて学んでいる呂宣雅さん(32)は

「一面雪に覆われている風景は本当に美しい。すごく楽しませてもらった」とにつこり。町担当者は「今後、も受け入れを積極的に行い、標津ファンを世界に増やしていきたい」と話していた。

一行は20日まで滞在し、野付半島や標津の自然を満喫する予定。

(須貝寛治)



雪の中でシャボン玉を楽しむ参加者

2018年2月21日（水）



滝本さん（左から2人目）の手ほどきで生キャラメル作りを楽しむアジアの留学生

## 生キャラメル作り挑戦

標津 首都圏のアジア留学生

【標津】研修旅行で15日から町内を訪れている首都圏の大学や専門学校で学ぶアジアの留学生が20日、特産の標津牛乳を使った生キャラメル作りに挑戦した。

一行は中国や台湾、ベトナム、インドネシアなどの19人。研修旅行は共立国際交流奨学財団（東京）の主催で、標津や羅臼、別海で雪遊びや流水観光などを体験した。標津町内ではホームステイも行い、町民と親睦を深めた。

この日は滞在最終日で、留学生たちに「おいしい」と評判だった標津牛乳の生

キャラメルを作った。町内の滝本菓子舗の滝本義代表（46）から手ほどきを受け、火にかけて銅のボウルに牛乳や生クリーム、水あめなどの材料を入れて溶立て器でかき混ぜるなどして仕上げた。作業中は日本語で会話を交わしていた。

横浜市立大学大学院1年のウ・モン・シェンさん（29）は台湾出身。IIは「ホームステイの家族にとっても親切にしてもらいました。雪かきは重かったけれど、感謝の気持ちを込めて頑張りました」と標津滞在を振り返っていた。（椎葉圭一朗）

2018年  
2月21日  
水曜日

# 北海道新聞

発行所  
北海道新聞社  
〒060-8711 札幌市  
中央区大通西37丁目6  
電話011-231-2111  
https://www.  
hokkaido-np.co.jp  
読者センター  
011-210-5888  
（日曜・祭日を除く）  
ご購読申し込み  
0120-464-104  
3ヵ月コース



一般財団法人 共立国際交流奨学財団  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-8  
03-5295-0205 kif-info@dormy.co.jp